

ユマニテク医療福祉大学校 令和5年度自己評価結果

令和6年3月2日

項目	評価ポイント	評価・課題
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ●学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか ●各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか 	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像・特色については、HP、学生便覧、オープンキャンパス等で周知している。年2回教育課程編成委員会を開催し、学校の理念・目的・育成人材像・特色について説明し、意見を収集している。入学時にオリエンテーション等を通して学生に周知している。</p> <p>課題:求められるカリキュラムポリシーに記載した学修成果に沿ったアセスメントプランやアセスメントツールの再構築が必要ではないかという観点にたち学内で検討する。</p> <p>改善策:カリキュラムポリシーとの重複に注意しながら、アセスメントポリシーを作成する。</p>
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ●目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか ●情報システム化等による業務の効率化が図られているか 	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>教職員の意識、行動の更なる活性化で、業務の効率化を図る。Office365を本格導入するための研修会を受講し様々なスキルを習得し、準備をすすめている。教職員向けの防災計画検討会を開催した。前回、教職員に対する避難訓練及び避難想定を行ったことを受けて、教職員の避難グッズの確認等を行い、「その時カード」を個人で作成し、具体的な緊急避難を想定した。</p> <p>課題:情報の共有・協働を見える化することで、コミュニケーション促進を行う。情報システムの整備を行う。</p> <p>改善策:経費節減、教育研究経費・管理経費の在籍者数に応じて意図的削減を行う。三重県SDGs推進パートナーに相応しいペーパーレス/オンライン意識・整頓意識定着を目指す。防災計画検討会を受けて、学生の防災訓練に反映する。</p>
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ●教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ●職員の能力開発のための研修等が行われているか 	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>年2回教育課程編成委員会を開催し、関係施設や業界団体等と連携し、教育課程の作成・見直し、授業内容・方法の改善・工夫を行っている。外部講師を招聘して、校内教員研修を2回(「今年度は、「①ハラスメント防止研修」、「②コミュニケーションスキルとコーチング」を実施した。多職種連携教育は看護学科と合同で開催した。</p> <p>課題:授業評価の見直しが図れていない。既存の職業教育の更新にとどまっており、近年の学生に対する効果的な教育の工夫(ICTやVRの導入、CBTの導入)はできていないと考える。また、リハビリテーション関連の先端技術についても十分に紹介できていない。学生の入学までの学習時間の少なさも目立ってきているため、授業終了後、校内にて担任立会いの下、学習してもら</p>

		<p>ことで到達レベルの引き上げを行なう。OSCE の実施を試みた。歯科衛生学教育コア・カリキュラム 2022 年度改訂版においても、OSCE の文字は無く、教育内容としてガイドラインも無い状態だが、取り入れている養成校も出てきている。教員間による授業評価が実施できなかった。</p> <p>改善策: 学内教育の充実を図ることに加え、さらなる、卒後教育の実施を検討していく。次年度からの新カリキュラム内には ICT、美容、災害、運動学などを入れ未来の介護福祉士に必要な最先端の知識技術を習得することを目指す。</p>
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ●就職率の向上、退学率の低減が図られているか ●卒業後のキャリア形成への効果を学校の教育活動の改善に活用しているか 	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>昨年度の国家試験合格率は、理学療法学科 100% (94.2%)、作業療法学科 100% (91.3%)、歯科衛生学科 96.8% (93%)、介護福祉学科は 75% (留学生含む) (75.6%) であった(カッコ内は全国平均)。就職は、ほぼ 100% 関連分野にしている。資格取得に関しては、学内での教員による個別指導に加え、アプリの活用、業者模擬試験を実施。現役合格できない学生に対するフォローアップ体制は構築している。歯科衛生学科による「地域公開講座」の開催を行った。</p> <p>課題: 歯科衛生学科、介護福祉学科は 7 年連続退学者 5% 未満を達成した。全学科、さらなる、退学率の減少に向けた対策を講じる必要がある。</p> <p>改善策: キャリア形成の把握のために、卒業生アンケートの実施を検討する。</p>
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ●進路・就職に関する支援体制は整備されているか ●高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか ●学生相談に関する支援体制は整備されているのか 	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>ポストコロナの一環として、スポーツ大会を四日市総合体育館及び第 2 体育館を会場に実施した。複数の競技を行い、学生にも企画を立案してもらい実施し、盛り上がった。配布物はペーパーレスに努め、教職員や学生運営スタッフのみへの配布にとどめる等、工夫した。求人票は、在校生だけでなく卒業生も閲覧できるようにして、相談があった場合は個別対応。健康診断を年 1 回実施し、その結果を把握した。同時に、各種抗体検査を実施し、臨床実習に向けた予防接種を促した。また、学生の心身状態については、必要に応じて教員間で情報共有を行っている。就職説明会や就職担当者との面接を行うことで、より自分にあった就職先選びができていると思う。しかし、就職試験でうまく力の発揮できない学生もいるため、履歴書のチェック、面接の練習を全員に行った。卒業生に対しても、就職相談や図書館の利用ができるようしている。留学生に対する学習や生活の指導を行った。姉妹校の通信制コース生徒への授業を全学科で担当した。県内高校への出前授業やバス見学等のキャリア教育・職業教育への協力を行っている。月 2 回、公認心理師によるスクールカウンセリングを実施し</p>

		<p>ており、有効に活用されている。</p> <p>課題：学生周知の方法として、アプリの導入を検討する。</p> <p>改善策：様々な修学支援の制度について、学生に周知し、必要な学生に届くよう事務部門と教員部門が協力して支援する。</p>
(6)教育環境	<p>●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか</p>	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>校舎全体として経年劣化しているため、段階的に大きな施設設備の更新を行っており、2023年度は歯科福祉校舎の受水槽加圧ポンプの取替工事を行った。その他必要に応じて設備の軽微な修繕も適宜行っている。2024年度は歯科福祉校舎の屋上防水改修工事を実施予定。ICT教育を行うための全校舎のネットワーク整備についても検討している。</p> <p>学外実習施設については、必要に応じて各学科で登録申請を行っており、必要な備品についても計画的に購入している。防災については全体で避難訓練と防災体験(煙体験、地震体験、消火器体験)を実施した。備蓄に関する保管場所についても見直しを行い教職員への周知を行っている。</p> <p>課題：経年劣化による外壁補修、LED化、校舎内防災対策(窓ガラス飛散防止、転倒防止)、学生寮整備。</p> <p>改善策：学園の今後の経営計画を元に必要な施設整備に関する修繕計画を立案する。年2回の防災訓練及び教職員防災勉強会を継続して行っていく。</p>
(7)学生の受け入れ・募集	<p>●学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>●高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか</p> <p>●生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか</p>	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>理学療法学科・作業療法学科では職業理解を促進するためにオープンキャンパスで「一緒にチャレンジ」を企画した。歯科衛生学科は教育訓練給付金制度が利用できることを踏まえ、社会人募集も積極的に行った。介護福祉学科は現役生(内部進学を含む)及び留学生(内部進学を含む)には施設奨学金の施設等とも連携を図り、就職まで見据えた進学の検討を促すような対策を検討した。学内での広報募集勉強会を継続する。連携する企業とは、施設奨学金(理学療法学科、作業療法学科、介護福祉学科)や「学生等の学びを継続するための緊急給付金」、「公益財団法人穴吹キヌエ忠嗣教育基金により奨学金制度」等の周知を行った。高等教育の修学支援新制度授業料等減免及び職業実践専門課程の年度更新を行った。</p> <p>課題：オープンキャンパスから入学に結び付けることが重要。ウイズコロナに向けた募集活動を模索する。</p> <p>改善策：今後も、SNSでの発信を継続していく。広報募集業者と連携を図る。</p>
(8)財務	<p>●財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>●中長期的に学校の財務</p>	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>法人として、理事会の承認、監査等は適正に行われている。財務基盤においては、修繕費、人件費、物価高騰</p>

	<p>基盤は安定しているといえるか</p> <p>●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p>	<p>による経費の増加傾向があり、特に今年度は人件費の見直しを行ったため、その分修繕費を抑えることでバランスを図っている。</p> <p>課題:学生数は学科によりばらつきがあり、全体として定員を充足していない。退学者数については個別面談や自習時間を指導することで一部改善している。</p> <p>改善策:引き続き入学者数の確保と退学者数の減少、経費支出の見直しと予算化、業務の効率化を図る。</p>
(9)法令等の遵守	<p>●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>毎月有給消化の状況を確認し、必要に応じて、促している。年2回奨励月を設けた。</p> <p>課題:障害者差別解消法について研修会を開催できていない。</p> <p>改善策:障害者差別解消法については、年度をまたぎ、開催する予定。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>●生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>介護福祉学科は「RUN伴+四日市2023」への中継点の協力と学生ボランティア活動を行った。歯科衛生学科は地域公開講座し、近隣の衛生士及び卒業生に対してのスキル研修支援を行った。理学療法学科では、地元スポーツ競技のサポート支援を行った。作業療法学科は休暇を利用した外部の活動を推奨した。地域住民に対する「はつらつ健康塾」の講師を務めた。</p> <p>課題:コロナ禍で、学生のボランティア活動は縮小している。</p> <p>改善策:地域住民への地域研修会の講師を務める。</p>